

夢の実現をサポートする 高等専修学校

ミュージシャン、ダンサー、デザイナーなど
自分の夢を叶える学びがあります。

演劇、音楽、ダンス、デザインなど、世の中には才能や高い技術力が求められる職業がたくさんあります。これらの職業では国家資格や検定などの資格を必要としないため、経験の中で実力を磨いていくことが大切になってきます。
高等専修学校には、中学を卒業してすぐに、なりたい職業を目指す

ための学びがあります。一般の高等学校の学習指導要領にとられない自由なカリキュラムで、エンターテインメント系やクリエイター系の授業も充実。卒業後は専門学校や大学に進学し、さらに道を究め、憧れの職業に携わる人も多くいます。若い夢を応援し、才能を伸ばす学びが高等専修学校にはあります。

1 高等専修学校で叶える夢の職業

高等専修学校で学ぶ生徒たちはそれぞれの夢を
追いかけて、さまざまな職業への道を切り開いています。

クリエイター系

- プロデューサー
- プログラマー
- プロモーター
- 構成作家
- 作曲家・作詞家・編曲家
- イラストレーター
- マンガ家
- モデル

エンターテインメント系

- 俳優
- ミュージカル俳優
- 声優
- ミュージシャン
- ダンサー
- インストラクター

語学・国際系

- 通訳
- 翻訳家

！ 夢の実現のために大学や専門学校への進学もできる
中学生の皆さんが目指しているそれぞれの夢を実現するためには、さらに大学や専門学校へ進学したほうがいい場合もあるかと思えます。3年制の高等専修学校であれば、専門学校へ進学することができ、また、ほとんどの場合、大学へも進学可能です。進学のためのサポートも各高等専修学校で行われています。

コラム

2 カリキュラム例

一人ひとりの夢を叶えるための
実践的な授業が充実しています。

俳優・ミュージシャンなど表現者になるための授業が豊富 /

日本芸術高等学園 1年生のカリキュラム例

	MON.	TUE.	WED.	THU.	FRI.
1	文学	音楽理論	キーボード	世界史	日本史
2	作詞	ドラム	ギター	英語グラマー	ヒップホップダンス
3	英語グラマー	ヒップホップダンス	ミュージカル・ソング	音楽	現代文
4	現代文	アクション	英会話	演技	タップ
5	世界史	美術	演技	殺陣	バレエ
6	ホームルーム		ボーカル	コンテンポラリージャズダンス	古典

エンターテインメント系に特化した
高等専修学校のカリキュラム例

英語・国語・社会などの一般教科と、演劇・音楽・ダンスなどの実技教科を学びます。
各ジャンルを一通り学ぶことで、一人ひとりの可能性を広げ、生徒たちも自分に合った道を見つけられるようになっており、実際に現場で活躍している講師が直接指導していることも特徴です。
また、芸能活動を単位として組み込む制度があり、学校内外で幅広く学べる環境も魅力の一つです。

■ 演劇 ■ 音楽 ■ ダンス ■ 一般教科



ここからの社会で求められる
クリエイティブ人材を育成する授業科目 /

東京表現高等学院MIICA カリキュラム例

	MON.	TUE.	WED.	THU.	FRI.
1	デジタル情報発信学	ヒューマンコミュニケーション学	総合教養学 (リベラル・アーツ)	基本芸術表現学 (伝統芸能/ビジュアルアーツ)	学校理念教育
2	企画立案プロデュース学	情報収集・キュレーション学		基本芸術表現学 (演劇)	目標設定・実行学
3		実用英語 ACT	CREATIVE WORK		基本芸術表現学 (ダンス)
4	実用英語 SKIT			実用英語 SKIT	
5	実用英語 Reading	メディア・エンターテインメント学	CREATIVE WORK	CREATIVE WORK	CREATIVE WORK

クリエイター育成に特化した
高等専修学校のカリキュラム例

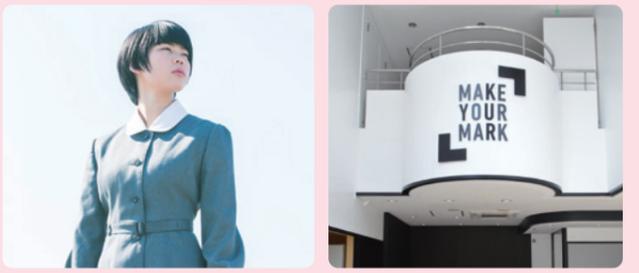
企画立案、プレゼンテーション、デザイン、動画編集などのスキルを身に付け、好きなことを仕事にし、社会で自ら新しい職業をつくっていきける人材の育成を目指したカリキュラムになっています。

- 企画立案力、情報発信、動画編集スキルを学ぶクリエイティブ系講座
- 演劇、音楽、ダンスなど表現スキルを学ぶ芸術表現系講座
- 教養と知識、問題解決力、英語力を身に付ける教養系講座

先生からの一言

学校法人日本芸術学園
東京表現高等学院MIICA
福田 潤 校長

AIなどの情報社会の進歩により、これまであった職業がなくなり、新しい職業が生まれてくるといわれています。また大手企業では採用時に大学名を書かなくてもいい、といった動きもあります。そういった時代に何を学んで大人になるべきなのか。一人ひとりが自分のやりたいことを実現していく力が大切になってくるのではないのでしょうか。当校は大学進学を目指した一般高等学校の学びから一線を画し、プロデュース学、コミュニケーション学など最先端の学びを取り入れています。学習指導要領に縛られない高等専修学校だからこそ、これからの社会で本当に必要な力を育てる先進的な学びを、迅速に柔軟に取り入れて進化できるのです。



interview みんなの声

高等専修学校で技術、経験を磨いている生徒たちの多くは、いきいきと学び、卒業生たちはそれぞれの夢に向かって進学、仕事へとつないでいます。在校生、保護者、卒業生、就職先企業からお話を伺いました。

在校生の声

人目を気にせず好きなことをとことん追求できる毎日が楽しい

授業がとても楽しいです。もともとバンドを組んで音楽をやりたいと進学したのですが、ある日私の撮った写真を先生がほめてくださって「作品をつくってみたら」と言っていただきました。今は、自分の好きな世界を写真で表現し、作品を企画することに夢中になっています。学校の授業では、社会の第一線で活躍しているクリエイターの方々のお話を聞く機会が多く、とても刺激的。先生の紹介で、私の作品をプロのカメラマンに見ていただいたとき、とても厳しい意見が返ってきたのですが、私に本気で意見を言ってくださったことがすごくうれしかったですね。

今はとりあえずやりたいことを気にせず思いきりやって、世界を広げていきたい。その先で本当にやりたいことを見つけられたいなと思っています。中学生まで、小さいコミュニティの中だと人目が気になってしまい、本当に好きなことを好きと言えなかった。でもこの学校では、休み時間に教室の後ろで一人ダンスの練習をしている子もいる。人目を気にせず自分の好きなことをできる、自分の意見を言える。今の学校で、自分らしく好きなことを学べるのがうれしいです。

岩本さんの学校生活 /

- 好きな科目 / ボーカルの授業。先生の指導を受けると、自分の歌がすごく変わっていくのが楽しい!
- 将来 / 中学生のときは大学に行かなくてもいいかな、と思っていたけれど、今は学びたいことがたくさんあって、大学に進学するのもいいかなと思ってきました。海外で学ぶことも憧れています!



学校法人日本芸術学園
東京表現高等学院MIICA 芸術科1年
岩本 せいらさん

今、夢中になっていること /

写真撮影

夏の芸術祭(文化祭)のために写真集を作成しました!



スマートフォンで水の中の泡や友人の姿などを撮影。色調、レイアウトの細部にわたるまでこだわって作成した。芸術祭では1冊700円で販売。

保護者の声

たくさん的高校を見て回り、体験入学で「企画立案」を学べることが決め手に

音楽系の勉強がしたいというのが娘の希望でしたので、都内の音楽系の授業がある高校をたくさん見て回りました。一般の普通高校も見て回りましたが、音楽だけに絞られている学校や、進学のための授業が多い学校などが多く、決めかねていたときに知ったのが高等専修学校である東京表現高等学院MIICAでした。問い合わせしてみると、体験入学という制度があり参加したところ、音楽の技術だけでなく、それを企画立案する授業もある。単なる技術だけでなく表現することへの幅広い学びに、私も娘

も「ここならいいよね」と入学を決めました。これまで何かに没頭することがなかった娘ですが、自分のやりたいことを自分の意思で取り組んでいる今の姿を見てうれしく思っています。

保護者 岩本 さくらさん
岩本さんのお母さま。音楽を学びたいという岩本さんの希望を叶える高校を探す中で東京表現高等学院MIICAを見つける。一般の高校も候補に挙げていたが、新しい学びがある同校に決めた。

卒業生の声

在学中は夢を目指して切磋琢磨。卒業後は念願の女優に!!

私は中学を卒業したら芸能活動ができる学校にどうしても行きたかった。小学校、中学校でいじめを受けて不登校になっていた時期もあったので、有名になって見返したかったんです! 高等専修学校の日本芸術高等学園への進学を母に承諾してもらったときは、本当にうれしかったですね。実際に入学してみて、一番良かったと思ったのは責任感や自立心を学んだこと。学校では仲間と協力して舞台やダンスの作品をつくって発表する機会がとても多いのですが、先生はテーマを出すだけで、あとはクラスメートと意見をぶつけあい、ケンカもしていかなければ進まない。お互いライバル

心を持ち、切磋琢磨していく中でパフォーマンスがどんどん良くなっていく。私も自分の意見を言い、やりたいことを自分で作り出せるようになりました。高校2年のときには仲間と一緒にミュージカルソング部を新しくつくったんですよ。部活も5つ、6つほど掛け持ちして毎日パフォーマンスをつくることで忙しい学生生活でした。才能があって個性の強い友人たちとの学校生活でも私がくじけなかったのは、何よりも「同じ夢を持った子たちがいる」ということがうれしかったから。卒業後は進学先で、さらに演技と英語を勉強し、念願のミュージカル女優への一歩を踏み出しています。



株式会社山王プロダクション所属 女優
岩崎 ルリ子さん(23)

学校法人日本芸術学園
日本芸術高等学園 演劇・音楽科
平成26年度卒業
日本芸術専門学校
平成28年度卒業



昨年に引き続き、今年もミュージカル「アニー」の大人キャストとして出演します。将来の夢は、アメリカのミュージカルの舞台に立つこと! 演技も歌も英語も、まだまだ勉強中です。

保護者の声

体が弱く、いじめで不登校だった娘。人が変わったように伸びやかに生き始めた

娘は小さい頃から喘息があり、体の弱い子でした。引っ込み思案で、小学校のときからいじめを受け、中学生まで不登校の時期もあったので、将来を心配していました。ですが、中学3年生の進路を決めるとき、初めて「芸能関係の学校に行きたい」と自分の気持ちを打ち明けられました。そこで候補となったのが、エンターテインメント系の高等専修学校です。正直なところ、親としては勇気が必要でしたが、入学させてみると不安を打ち消すだけの専門的で魅力的な学びがあり、彼女はこれまでと人が変わったように学校生

活に夢中になっていきました。学校はほとんど皆勤だったんですよ。「夢を追うことをバカにしない」という学校で、娘の夢を応援してくれる高等専修学校を選んで本当に良かったと思っています。



保護者 岩崎 ケイさん
岩崎さんのお母さま。岩崎さんの芸能関係の学校へ行きたいという強い思いと、中学の先生の賛成もあり、高等専修学校への入学に賛同。

就職先企業の声

演技や音楽を早くから学び、自分の強い意思のある人に育つ

芸能プロダクションにはたくさんの才能を持った人たちが所属しています。中でも高等専修学校で15歳から演技や音楽の勉強をした生徒たちは、みんな意気込みが違います。好きなことや興味ははっきりしていて、自分がやりたいことを頭の中でしっかりと思い描くことができている。何がやりたいかわからない、という人が少ないのです。エンターテインメントの世界では「どうしたいの?」と聞いたときにははっきりと答えられることがとても大切です。若いうちから学校で好きなことに打ち込み、学校の発表会な

どで人に見てもらおうことで鍛えられているのだと思います。自分の意思をしっかりと持つことは、ほかの仕事や生活でも大切なこと。普段から常に考えて生きていくことを高等専修学校の生徒たちは自然に身に付けていっているようです。



株式会社山王プロダクション
マネージャー
高橋 依里氏